

第109号

夏休み特集



発行 学校法人 藤枝学園
藤枝明誠中学校・高等学校
渉外課広報担当
TEL (054) 635-8155
FAX (054) 635-8494
【URL】 https://www.fgmeisei.ed.jp
【Email】 meisei@fgmeisei.ed.jp

応援を力に！明誠野球部 夏の大会

最後まで戦い抜いた



一生に一度の経験

野球部主将

井澤 翔

32HR (青島北中出身)

「一心」この言葉はチームの心を一つにするのと、一人一人の心を磨くことを意味しています。私たち野球部はこの言葉を常に大事にして、日々練習に励んできました。私たちは「甲子園で勝つ」を目標に掲げ、取り

組んできましたが、その目標には届きませんでした。しかし、光岡先生のもっと野球の技術についてはもちろん、その中でも「人間力」がどれだけ大事なことなのかということも教えていただき、野球を通して多くのことを学ぶことができました。私たちがここで学んだこと全てが、人として一生

みんなで協力した応援指導委員会

応援委員会委員長

山崎 航希

310HR (明誠中出身)

私が応援指導委員会に就いた2021年度は、新型コロナウイルスの影響で活動が思うように行えなかった上に、型の継承者の先輩が一人しかいない状況でした。特に型の継承には困難を要したほか、野球部や

サッカー部の応援については先輩の代でも大会の中止が相次ぎ練習したものを実践できず、型の中には上手く継承されなかった部分もあったため、私たちの代では新たにメガホンの振り方などを決めなおす必要がありました。そんな不安や試みだらけの代でしたが、委員長

チアリーダーとして

チアリーダー部キャプテン

龍崎 心

33HR (明誠中出身)

チアリーダーは人を応援するために始まったスポーツです。私たちはチアリーダー部は「自分自身の姿をもって選手や周りの人を勇気づけ共に応援する」気持ちで常に大切にして応援活動に励んできました。今

年も声を出しての応援はできませんでしたが、野球部や吹奏楽部と入念に打合せを行い、選手力に合わせた応援を目標に取り組んできました。またメンバー同士でダンスのテストをして技術を高め合い気持ちを一つにし、相手校を圧倒できる迫力のある応援を目指して練習してきました。

『人の心を動かす演奏』を

吹奏楽部部長

斉藤 寛太

28HR (天洲中出身)

新型コロナウイルスにより、制限されていた活動が徐々に戻ってきて、私たち吹奏楽部も定期演奏会をはじめとする様々な活動の場が、ほぼ日常として戻ってきました。

しかし、7月に入ると県内の新型コロナウイルスの感染者数が急増して、「野球応援ができないのではないか」という不安がありました。そんな中グラウンドで一生懸命練習する野球部の姿から私たちは勇気もらい、目標である「人の心を動かす演奏」の実現に向けて、練習により一層力が入りました。試合当日、球場では選手たちの真剣な顔が真夏の太陽に照らされ輝きました。自然と私たちの応援にも力が入り、スタンドにいる全員が一体となって、野球部の勝利を願っていました。試合を通し、誰かを勇気づけるために全力で演奏することは、かけがえないことだと気づくことができました。一緒に応援してくださった、野球部、チアリーダー部、応援委員の皆さん、ありがとうございました。

夏休みの中のさまざまな活動を6名の体験者に述べていただきました

語学留学・大会を経験して

留学・大会を通して 新たな決意

私は3カ月間、カナダのピクトリアに語学留学



36HR (小川中出身) 小長谷 真那

テ留学JAPAN」というプログラム

目標達成までの3年間

トピタテ留学JAPANプログラム
カナダへの語学留学



語学だけでなく多くのことを学ぶ機会となった

たのは高校1年の春、何か新しいことに挑戦したいという思いで「トピタテ留学JAPAN」というプログラムの試験を受

をしました。留学を決めたのは高校1年の春、何か新しいことに挑戦したいという思いで「トピタテ留学JAPAN」というプログラムの試験を受

け、2年生の春に合格をいただきました。コロナ禍だったため、1年後のこの春やっと渡航許可が下りカナダに行くことができました。

私がチアリーディング部に



16HR (藤枝中出身) 山田 さゆり

決めました。一見華やかに

夏の大会で成長した

チアリーディング部
新体制でスタート



秋から新たなチームでスタートする

急な変更が何度もありました。そのため私は、い

にしました。

でも、自分自身の姿で周りの人を笑顔にしたり元気を届けたりすることが魅力のチアリーディングですが、実は常にケガと隣合わせの団体競技です。

合宿・ボランティア・ディベートなど

夏休みを利用して 自分の力を高める

ディベート大会

38HR (小川中出身)

福田 詞文



私は今年8月に開催されたK-Cupという、二人一組の英語ディベート大会に参加した。きっかけは、あと一歩のところまで全国出場に届かなかった昨年

初戦は慶應大学との対戦であり、結果は負けてしまったものの2ndベストスピーカーを受賞することができた。この成長を自信にかえ、最終目標の大学合格に向けて一歩ずつ前進していきたい。

ボランティアで得たもの

18HR (相良中出身)

赤堀 加奈



7月31日に、牧之原市立萩間小学校において、ボランティア活動が行われました。

この経験を通じ、感謝することの大切さを学びました。普段何気なく生活している、という感謝の気持ちを忘れず、学校生活を送る所存です。

変わり始めた自分

25HR (岡部中出身)

宮崎 晴輝



夏休み期間中、私たちが剣道部は岐阜県関市へと遠征に向かいました。

今、私は剣道技術も他の強い学校から見れば、足りないものではないでしょう。しかし、自分自身を厳しくすることを心がけ、練習試合に臨みました。この気持ちのせいか、試合で負けることはほとんどなくなりました。

成長した合宿

31HR (大富小出身)

木瀬 朝陽



陸上部長距離の合宿が3日間ありました。私は、中学陸上部の部長として下級生達をまとめる事、各自が目標タイムに近づけるように引っぱらうと思いつきました。

合宿は通常練習と違い、高低差のあるコースを走ることで体力と足にとっても負担がかかります。しかし、練習は高校生達と一緒にするので、高校生の熱量を間近に見ることで気持ちを奮い立たせ、走るペースを守るために、皆で声を掛け合い励まして、走りきることができました。怪我で走れない人はチームメイトが走りやすいようにコースを整備し、タイムを読み上げ、サポートしてくれました。

高校1年生特集! 科・コース別に明誠での生活を語る!

普通科

人としての成長について

11HR (山梨南中出身)

一瀬 友希



Q: 半年間、明誠で生活してどうか
限られた時間の中で学習と部活の両立することの難しさを感じています。が、クラスや部活の仲間と共に毎日充実した日々を過ごしています。

Q: 今後の1年間の目標
誰からも信頼される人間になつていくために、自分ではなく周りのためになる行動をしていきます。後悔しない毎日を目指してまいります。

Q: 3年後の自分はどうなつてほしいか
部活動に一番力を入れています。私は野球部に所属しており、甲子園で勝つために常に高い意識をもって練習や日常生活をしています。

一人の大人として恥のない人間になつていきたいです。そして進路の幅を広げていくためにも、無駄な時間を過ごさず将来を見据えた生活をしていきます。

部活と勉強を通して人間力を高める

12HR

(金谷中出身)



Q: 半年間、明誠で生活してどうか
部活や勉強など新しい環境に戸惑うこともありましたが、個性豊かな友達と協力し、楽しく毎日を通すごうができています。

Q: 今後の1年間の目標
日常生活の中で、清掃やあいさつなど明誠生としての自覚をもった行動を心がけます。その上で部活と勉強の両立も目指してまいります。

Q: 3年後の自分はどうなつてほしいか
この1年間の目標は日常生活の中で、清掃やあいさつなど明誠生としての自覚をもった行動を心がけます。その上で部活と勉強の両立も目指してまいります。

Q: 将来の夢
私は将来、人の心を動かすことができる人になりたいです。私は今までたくさんの人と出会い、良い方向へと心を動かされました。私も将来、上手にいろいろな人や、悩んでいる人に対して、自分の行動や言葉で、その人の心を動かし、少しでも助けられるような人間力を持った人になりたいです。

勉強面では、自分の希望する大学へ進学できるように学力を身につけたいです。部活面では、目標である全国高校サッカー選手権に出場したいです。

将来のための基礎作り

15HR

(高洲中出身)



Q: 半年間、明誠で生活してどうか
高校生活に慣れることができるか心配でしたが、良い友人にも恵まれ、毎日楽しい学校生活を送ることができています。

Q: 今後の1年間の目標
今年の目標は何でも挑戦してみることです。1年生だからこそ挑戦ができると思います。自分にあった効率の良い勉強法や興味などの息抜き、運動も程よくして体力も維持したいと思っています。さらに苦手な英語克服のために英検に挑戦します。

Q: 3年後の自分はどうなつてほしいか
第一志望の大学に合格し、自分の目標に向かって努力したいと考えています。他には、様々な資格を取るための勉強をしたいと思います。

Q: 将来の夢
今のところ、将来は管理栄養士になりたいと考えています。患者さんや子どもたち、アスリートなどが健康的な食生活を送れるように栄養面からサポートし、人々の役に立つような研究をしたいと考えています。

英数科国際教養コース

奇跡を起こすな

17HR (東月寒中出身)

幸丸 太陽



Q: 半年間、明誠で生活してどうか
入学当初に比べて、格段に勉強をする習慣が身につけてきたと感じています。その要因は、環境に恵まれてのことです。

Q: 3年後の自分はどうなつてほしいか
難関大学の理工情報系の学部で合格できる十分な学力を身につけ、人間的にも大きく成長したいです。

Q: 将来の夢
自分の作り出したもので人に喜んでもらうことが夢です。そのため、放送作家や商品の企画開発など、創造性の豊かな職に就きたいです。

Q: 今後の1年間の目標
大きな目標は、2年次に理系選抜へ進級すること、クラス内で一番の成績をおさめることです。

Q: 半年間、明誠で生活してどうか
藤枝明誠には志の高い生徒が多く、皆が高い目標を持ち物事に取り組んでいる素晴らしい学校だと思っています。これからの目標に向かって日々努力したいと思います。

Q: 将来の夢
将来の夢はまだ決まっていませんが、自分の能力をいかし、直接的でなくとも多くの人の役に立つ仕事に就きたいと考えています。

目標に向かって努力

18HR (青島北中出身)

鈴木 颯史



Q: 半年間、明誠で生活してどうか
国際教養コースに入っているので、英語に力をつけています。進みが速く、覚えることもたくさんありますが辛いと思うことなく、授業を楽しんでいます。

Q: 今後の1年間の目標
予習、復習だけでなく、自分の苦手な克服するための自学習を習慣化したいと思っています。そして1年生のうちに基礎を固めておきたいと考えています。

Q: 3年後の自分はどうなつてほしいか
これまでリーダー的な役割や自分の意見を出したりすることが少なかつたので、3年間の学校生活で、自分の意見をはっきりと述べられるようになりたいと思っています。

Q: 将来の夢
翻訳に挑戦したいです。洋楽を聴くことが好きなので、まずは洋楽の和訳にチャレンジしたいです。その為にも、英語学習により一層力を入れていきます。

理想を現実

19HR (青島北中出身)

原 啓心



Q: 半年間、明誠で生活してどうか
明誠の先生方は、誠意を持って授業をしてくださる先生が多く、わかりやすいため確実に学力がついてきているのを感じています。

Q: 今後の1年間の目標
主に数学、英語の予習と復習に力を入れていきます。この2教科は全科目の中で特に重要だと考えているため、早めの勉強を心がけています。

Q: 3年後の自分はどうなつてほしいか
学習面だけでなく、生活面でも優れた人間になりたいです。また、自分の目標に向けて、努力を継続できるような人になりたいです。

Q: 将来の夢
私は建築関係の仕事に興味があるため、その学部がある国立大学に進学したいと考えています。設計や施工など幅広い分野に挑戦し、企業で即戦力となるような人材を目指します。そのためにも、まずは理系文系問わず、すべての教科の基礎的な学力を身につけたいです。

英数科国際教養コース

将来を見据えて

16HR (青島北中出身)

小関 碧空



Q: 半年間、明誠で生活してどうか
入学時はなれないことも多くあり、単語テストや課題を終わらせることに一杯でしたが、ダイアリーを活用することで今は効率良く勉強が出来るようになりました。

Q: 今後の1年間の目標
予習、復習だけでなく、自分の苦手な克服するための自学習を習慣化したいと思っています。そして1年生のうちに基礎を固めておきたいと考えています。

Q: 3年後の自分はどうなつてほしいか
これまでリーダー的な役割や自分の意見を出したりすることが少なかつたので、3年間の学校生活で、自分の意見をはっきりと述べられるようになりたいと思っています。

Q: 将来の夢
翻訳に挑戦したいです。洋楽を聴くことが好きなので、まずは洋楽の和訳にチャレンジしたいです。その為にも、英語学習により一層力を入れていきます。

目標に向かって努力

16HR (榛原中出身)

原 明美



Q: 半年間、明誠で生活してどうか
高校生活に慣れるまで少し時間がかかりましたが、自分の目標や関心、強みをとことん追求でき、サポートしていただけたことに感謝しています。

Q: 今後の1年間の目標
ボキャブラリーを増やし、教養や表現力を身につけられるように前向きに練習に取り組んでいます。

Q: 3年後の自分はどうなつてほしいか
私は中学生の時から英検に力を入れています。現在は1級の取得に向けて英語の勉強に励んでいます。今年度中の取得を目標に努力します。

Q: 将来の夢
国際的に活躍できる人材になれるようにグローバルな視点をも身につけ、世界に目を向けていきたいです。

小さなことの積み重ね

16HR (川根中出身)

藤澤 心愛



Q: 半年間、明誠で生活してどうか
入学当初は、学校生活に慣れるのが大変でその時にやらなければいけないことで精一杯になっていました。今では、先何が必要なのかを考え、行動できるようになりました。

Q: 今後の1年間の目標
私は高校卒業までに準1級を取得したいと考えています。そのため今年中に2級を取得できるようにコツコツと努力を積み重ねていくつもりです。

Q: 3年後の自分はどうなつてほしいか
他者への深い思いやりと、目標に向かってひたむきに努力できる力を持った人になりたいです。

Q: 将来の夢
まだ明確には決まっていますが、この3年間で英語を自分の強みとし、それを活かせる職業に就きたいと考えています。



13年ぶりの都大路へ向けて決意を新たにする

陸上競技部

インターハイ15位 全国の壁を感じるも駅伝でリベンジ誓う



32HR (吉田中出身) 杉浦 柊人

努力を続け、成功に繋げる

私は高校入学当初から目標にしていた全国高校総体に出場しました。1、2年次では全国に駒を進めることができませんでした。今年が高校最後の年なので「今年こそは」という思いで練習してきました。インターハイ直前で怪我をしてしまい、上手く練習できない不安の日々が...

バスケットボール部 インターハイ全国3位 全国の大舞台で躍動



ウィンターカップで全国制覇を目指す

勝つための「準備」

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)出場にあたり、多大なる応援とご支援を頂きました。生徒の皆さん、保護者、職員の方々へ御礼申し上げます。おかげ様で、本大会を振り返り、生徒たちが一所懸命に取り組んだのは「準備」でした。対戦相手に勝つため

の準備とは、ミーティングや普段の練習が言えます。ミーティングを集中して行う、練習を一所懸命にやることだけが準備ではなく、それらより高い質にするための「準備」を事前にするということ。その日の練習で上達したいことを明確にして練習場所に向かう。練習環境を整えて、より質の高い練習が行えるようにする。まだまだ多くの「準備」がありますが、勝利するにはそれに相応しい「準備」があり、逆に「準備」をしないということ。負けるための「準備」をしています。この考え方は、授業や日常生活にも当てはまります。「コートの外に勝負あり」という目下総監督の言葉がこれら全てを表しており、生徒の皆

挑戦の夏



34HR (熊本立南中出身) 上野 幸太

今回バスケットボール部は7月末から香川県で行われたインターハイで3位という結果を得ることができました。試合の応援だけに限らず、たくさんの方の支援やメッセージ、本当にありがとうございました。

さんにも理解してほしい言葉です。結果論ですが、今回の我々の取り組みは全国3位になるための取り組みでした。そこから学び、今は全国制覇に相応しい

「準備」をすべくチーム一心で取り組んでいます。引き続き、応援をお願いいたします。(バスケットボール部 監督 金本 鷹)

インターハイ前の東海大会や練習試合を通してロードプリンスとのコミユニケーションやメンタル面での課題が見つかりました。インターハイに近づいていくにつれ、コミユニケーションも少しずつとれるようになり、チームとしてのまとまりが生まれてきました。そして迎えたインターハイ。全国の強豪校と対戦する中で自分たちのキーワードは「チャレンジ

をしないといけません。だからこそ日々の練習から手を抜かず、本番で自分の走りができるようにインターハイを通じて学んだことをいかし、仲間たちと努力していきます。



26HR (菊川西中出身) 柳田 美咲

ING-OF SUMMER CAMP キャンプでの成長

私は8月上旬に国際教養コースで実施されたインターナショナルサマーカーニバルに参加しました。去年は英数コースに所属していたため、今回が初めての参加となりましたが、クラスの友達がサマーカーニバルの魅力を教えてくれていたので、とても楽しみにしていました。

キャンプでは、1年生と一緒に外部から来てくださった講師の方々の授業を受けたり、アクティビティを行ったりしました。その中でも特に印象に残ったものは、スピーチコンテストと青年国際



高校最後の国体へ臨む



310HR (明誠中出身) 村松 佳香

8月21日に開催された国体東海ブロック大会10メートルエアライフル少年女子射撃60発競技で優勝のチャンスを果たした。初めて国体に出場したのは、中3の茨城国体です。チームライフル競技での出場でしたが、高校生ばかりの中で自分の力を出せずあつという間に終わってしまいました。その茨城国体で、明誠高校の先輩がエアライフル

射撃 今秋は国体出場 3年ぶりの国体で恩返しを誓う 県代表として臨む

ルの部を本選3位で決勝に進みました。決勝会場は、観衆も固唾をのみ、静寂そのものでした。選手の手が震え、先鋒は1撃1撃を集中して撃っていました。応援する私たちはその姿を祈るような気持ちで見っていました。残念ながら6位でしたが、先輩の悔しい中にも結果を残せてほしいと顔が今も忘れられません。一緒に応援していた静岡県代表の選手・監督・協会のみならず、自分自身の事に悔しいけれど、入賞がうれしいうでした。高3なつてからの私は結果ばかりが気になり、思うような結果を残せていません。しかしこの栃木国体は、日頃から支えてくださっている方々とともに、オール静岡で臨みます。応援よろしくお願いたします。



言葉だけではない国際交流に気づく機会となった

セミナーです。まず、スピーチコンテストでは全て英語で、みんなの前で自分が伝えたことを発表しました。今まで私はそのような経験

験をしたことがありませんでしたが、このコンテストを通して練習の成果を出せたという達成感を味わうことができ、自分に足りなかった自信を持つことができました。青年国際セミナーではオリンピックへの出場経験がある方から、スポーツと国際交流の繋がりを教えていただきました。多くの国を繋ぐものは言語や文化だけではなく、心と心で繋がります。私は将来、日本と外国の繋がりをよりよくするために国際社会で活動を行い、それを支える人になりたいと考えています。